⑱　受注者の責めにより、提案された技術提案を遵守することができない場合は、提案の達成率に応じて工事成績評定点から減点する。

⑲　本工事について、調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合には、工事完了後に行う工事コスト調査に係る資料を公表する。

⑳　詳細は、入札説明書による。

6　Summary

(1)　Official in charge of disbursement of the procuring entity : Shinichi Yamazaki, Director of Rumoi Development and Construction Department, Hokkaido Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

(2)　Classification of the services to be procured : 41

(3)　Subject matter of the contract : Construction work of the Bangobe Tunnel, Fukagawa Rumoi Expressway, Rumoi City, Hokkaido, Japan

(4)　Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification by electronic bidding system : 11 : 00 a.m. 17 November 2016

(5)　Time-limit for the submission of tenders by electronic bidding system : 1 : 00 p.m. 20 January 2017 (tenders brought with 1 : 00 p.m. 20 January 2017 or submitted by mail 1 : 00 p.m. 20 January 2017)

(6)　Contact point for tender documentation : Tatsuhisa Kakihara, Senior Officer of Contracts Division, Contracts Division, Rumoi Development and Construction Department, Hokkaido Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism 1―68, Kotobuki-Cho, Rumoi, Hokkaido 077―8501, Japan TEL 0164―42―2367

入 札 公 告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

平成 28 年 10 月 18 日

支出負担行為担当官

九州地方整備局長　小平田浩司

◎調達機関番号　020　◎所在地番号　40

1　工事概要

(1)　品目分類番号　41

(2)　工事名　熊本325号災害復旧　阿蘇大橋上下部工事

(3)　工事場所　熊本県阿蘇郡南阿蘇村地先

(4)　工事内容　橋梁形式：ＰＣ３径間連続ラーメン箱桁橋　橋長：Ｌ＝345.0ｍ　架設工法：片持架設工法　最大支間長：Ｌ＝165.0ｍ　下部工構造：ＰＲ１橋脚：躯体高Ｈ＝45.5m、大口径深礎工φ11m、杭長Ｌ＝23m　ＰＲ２橋脚：躯体高Ｈ＝95.0m、大口径深礎工φ16m、杭長Ｌ＝28m　ＰＲ３橋脚：躯体高Ｈ＝75.0m、大口径深礎工φ15m、杭長Ｌ＝19m　Ａ２橋台：躯体高Ｈ＝10.5m、場所打ち杭工φ1.5m杭長Ｌ＝12m　仮設工：作業構台工　１式

(5)　工期　契約締結の翌日から平成32年９月30日まで

(6)　使用する主要な資機材　コンクリート：約26,700㎥、鋼材：約7,300ｔ

(7)　本工事は、入札時に施工計画等の提案を受け付け、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式（技術提案評価型（ＡⅢ型））の工事のうち、品質確保の為の体制その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式の試行工事である。

(8)　本工事は、入札時に工事目的物の性能・機能・社会的要請及び企業の高度な技術力について記述した技術提案を受け付け価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式のうち、入札前に高度な技術提案とそれに要する費用の見積を審査することにより、品質と価格に優れた調達を目指す技術提案評価型ＡⅢ型を適用した工事である。

(9)　本工事は、(7)、(8)の技術提案の審査において技術提案を実施するために必要となる設計数量の提出を求め、技術提案に対応した見積書の提出を求め、予定価格を定めることがある。なお、適切な施工計画の選定にあたっては、各社の計画の部分的な内容の組み合わせは行わないものとする。

(10)　本工事は、一次審査の審査評価点の合計が上位10社（ただし、10番目の審査評価点と同点の者が複数いる場合は、その全ての者を含む。）以外の競争参加者による入札は無効とする段階的選抜方式の適用工事である。

(11)　本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の試行工事である。ただし、総合評価に係る技術提案の範囲は対象としない。

(12)　本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

(13)　本工事においては、資料の提出及び入札等を電子入札システムにより行う。なお、紙入札の申請に関しては、九州地方整備局総務部契約課に承諾願を提出して行うものとする。

(14)　本工事は、入札説明書等を電子入札システムからダウンロードする適用工事である。

(15)　本工事は、ＩＳＯ9001認証取得を活用した監督業務等の取り扱いの対象工事である。ただし、低入札価格調査の対象となった場合を除く。

(16)　本工事は、発注者が新たな積算方式として「施工パッケージ型積算方式」の試行を行う工事である。

(17)　総価契約単価合意方式の適用

①　本工事は、「総価契約単価合意方式」の対象工事である。本工事では、契約変更等における協議の円滑化に資するため、契約締結後に、受発注者間の協議により総価契約の内訳としての単価等について合意するものとする。

②　本方式の実施方式としては、

イ　単価個別合意方式（工事数量総括表の細別の単価（一式の場合は金額。ロにおいて同じ。）のそれぞれを算出した上で、当該単価について合意する方式）

ロ　包括的単価個別合意方式（工事数量総括表の細別の単価に請負代金比率を乗じて得た各金額について合意する方式）があり、受注者が選択するものとする。ただし、受注者が単価個別合意方式を選択した場合において、①の協議の開始の日から14日以内に協議が整わないときは、包括的単価個別合意方式を適用するものとする。

③　受注者は、「包括的単価個別合意方式」を選択したときは、契約締結後14日以内に、契約担当課が契約締結後に送付する「包括的単価個別合意方式希望書」に、必要事項を記載の上、当該契約担当課に提出するものとする。

④　その他本方式の実施手続は、「総価契約単価合意方式実施要領」及び「総価契約単価合意方式実施要領の解説」によるものとする。

(18)　本工事は、『「公共工事の品質確保に関する新たな取組」の試行運用について』（H18. 5.16国九整契第51―２号他）に基づき、入札説明書別紙１「低入札価格調査制度調査対象工事に関する事項」により、低入札価格調査制度調査対象工事に対する取り組みを行う試行工事である。

(19)　本工事において、調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合は、工事の監督補助並びに安全対策を目的として、工事現場にモニターカメラを設置するものとする。なお、モニターカメラの設置費用については、工事の監督補助として活用するものについては発注者が負担するが、工事現場内の安全対策として活用するものについては受注者が負担するものとする。

(20)　本工事において、調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合は、ビデオ撮影により不可視部分の出来形管理を行うものとする。なお、ビデオ撮影した映像については、監督職員へ提出するものとする。

(21)　本工事において、中間前金払に代わり既済部分払を選択した場合には、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施する「出来高部分払方式」を採用する。